

衝撃の小池質問！ 憲法・国民・国会無視の自衛隊暴走 安倍首相コメントなく避暑地で容認 法案は撤回・廃案しかない！！

11日の参院安保特別委員会での小池晃日本共産党参院議員による自衛隊統合幕僚監部の資料を駆使した質問は与党に大きな衝撃を与えています。特別委員会は、中断を繰り返し、鴻池委員長がとうとう散会を宣言。閉会後の記者会見では小池議員が記者団の求めに応じ、同資料について詳しく説明しました。全国紙や共同通信の配信、テレビ各局も大きく報道しました。今後海外マスコミでも話題になることは必至です。

憲法違反、国民・国会無視の自衛隊の対応、それを容認する首相や防衛大臣のもとで法案審議は維持できません。法案は撤回・廃案するしかありません。

参院特別委員会は来週にもちこし 地元での働きかけが課題

小池質問に対し政府が答弁不能に陥っていること、磯崎首相補佐官の参考人招致問題など、政府・与党は窮地に陥っています。そのなかで参院特別委員会は、理事懇談会の協議を含め、来週17日以降にもちこされる見通しです。

いよいよ参議院議員、国会議員がお盆で地元に戻るこの機会に、与党議員や態度あいまいな議員には、「法案反対」「法案廃案」「戦争法に手を貸すな」の世論を直接訪問しての面談、電話、ファックスなどで突きつけ、野党議員には激励を強める時です。

「8・30 大行動」とそれにむけた取り組みが法案の行方を分ける

「戦争法案廃案！安倍政権退陣！8・30国会10万人、全国100万人大行動」が迫っています。この成功が戦争法案廃案、安倍政権退陣を促進する決定打になるよう大成功させましょう。

10日には第13回戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が開催され、改めて国会周辺と全国一体となった取り組みの成功にむけ、配置や要員体制の確保を含めた意思統一が行われました。

国会10万人大行動は、14時から16時。国会周辺はもとより、霞ヶ関・日比谷公園なども含めた広範囲のエリアで一体となって取り組みます。国会正門前にステージを置き、国会周辺には音声の同時発信をおこなうほか、霞ヶ関・日比谷公園地域の12地域には宣伝カーを配置し、それぞれの集会をおこないます。

そして14時、15時、15時55分から5分間の一斉コールを行うことにしています。

各地で計画次つぎ

全国100万人行動として、全国各地の取り組みが次第に明らかになっています。「大行動」の一環としておこなうところ、位置づけ途上のところさまざまですが、下記のような計画が寄せられています。

秋田＝秋田県議会九条の会 講演会（講師・小林節慶応大学名誉教授）

山形＝県弁護士会呼びかけの集会・パレード

石川＝共同の2000人集会

大阪＝扇町公園の大集会のほか、府下各地で自治体単位などの集会などを開催、全体で3万人以上の行動に

宮崎＝若者憲法アピールウォーク

NHK世論調査

内閣支持率 37% 安保法案成立反対 47%

NHKの世論調査が10日から11日にかけて報道されています（7日から9日の調査）。

その結果、安倍内閣の支持、不支持は7月の調査で逆転し（支持41%、不支持43%）、今回の調査ではその差が9ポイントに拡大しています（支持37%、不支持46%）。

安倍内閣による安全保障法制の整備の推進を「大いに評価する」が7%、「ある程度評価する」が23%、「あまり評価しない」が32%、「まったく評価しない」が32%でした。

安保法案の今国会での成立という政府・与党の方針には、「賛成」が16%、「反対」が47%、「どちらともいえない」が31%。

磯崎首相補佐官の「(安保関連法案は)法的安定性は関係ない」という発言に関して、国会で陳謝し、発言を取り消したことについての安倍内閣の対応は、「適切」9%、「適切でない」51%、「どちらともいえない」30%となっています。

一連の世論調査の結果と同じ傾向となっており、世論的には「勝負あった」の状況に近づきつつあり、さらに支持率2割台への引下げに向け運動の強化が求められます。

明日 13日

とめよう！戦争法案 8・13会前木曜連続行動

戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が呼びかける国会前木曜連続行動はお盆の間も行われます。「8・30大行動」の成功めざす運動の一環として、残暑を吹き飛ばす盛り上げをつくりましょう。

行動は、明日13日18時30分から1時間、衆議院第2議員会館前を中心に取り組みます。

この行動では、主催3団体のあいさつ、国会議員からのあいさつ・報告があります。さらに、先に発表された「安保法案に反対する中東研究者のアピール」呼びかけ人・栗田禎子千葉大学教授が連帯あいさつを述べます。